

大阪大学図書館報

Vol. 8, No. 6 January 1975

目 次

- | | |
|------------------------|------|
| ○書物の装幀とマイクロフィルム | ○会 議 |
| ○学生希望図書（受入済） | ○日 程 |
| ○教官著作寄贈図書 | ○人 事 |
| ○外国雑誌一括購入業務（業務の機械化〔4〕） | |

書物の装幀とマイクロフィルム

覚 道 豊 治

たいていの書物はそれぞれ一冊ごとでは大きさも重さも手頃であるが、何冊が集まると、大変に重く、持ち運びに誠に不便を感じるものである。また意外に置場所もとるので、わが家の小さい書斎などはかたづけてもかたづけても、すぐにいっぱい、置き場に困ってしまう。まして沢山の書物を取扱う図書館での運搬や格納ともなれば大変である。阪大の場合、中央図書館の書庫は新築間もないが、しかしこれも満庫になるのはそう遠い先のことではないだろう。しかし将来もしマイクロ化の技術がもっと進んで、すべての図書は精密なマイクロフィルムとなり、読む際は手軽で非常に優秀な映写装置で自分の好きな大きさの字に拡大して読むことができ、望む箇所は随時その場で簡単にコピーできる、というようなことにでもなれば、持ち運びはポケットに入れ、机の引出しにも沢山収納できる、というわけで、いかに便利なことだろうかと思われる。恐らく今日の書物の観念がすっかり変わってしまうかもしれない。ただ現在コピーの技術は大変進歩し、便利になったが、書物を縮小化し、拡大映写する技術はなお十分ではない。技術の進歩が望まれる。

ただしかし技術が進んでマイクロ化が進んだとしても、マイクロフィルムでは現在の書物に対するわれわれの感情のすべてを満足せしめることができないであろう。食べ物にしても、ただそれが栄養になればよい、食べて味うことができればよい、というだけではなく、まずそれを目で見て楽しみ、箸やホークで触れ、さらにそれが入っている食器をも見てまた触れ

て楽しむものである。すなわちその食物自体とその食物の置かれている場所や、その雰囲気全体をあらゆる感覚で楽しむということがある。書物もただその内容が読めればよい、というだけではなく、まず読む前に目で全体を見て、これを取り上げて触れる、その感触、重みのある手ごたえを受ける楽しみがある。大きく重いものはそれなりに、小さく軽いものはまたそれなりのよさがある。もちろん見て触れることのみを楽しんで全く読まず、ただ飾物として書架に並べて喜ぶというだけでは意味のないことは当然であるが、しかし書物を見る楽しみ、持つ楽しみ、というものは、書物を愛するということにも関連しており、必ずしも否定されるべきことではないであろう。そのようなことから、出版社が書物の装幀やそのデザインにも力を入れるということももうなずける。外国の書物やわが国の古い書物のなかには、なめし革で装幀した立派なものがあるが、それを楽しむ心理も理解する。また同じ内容でも、とくに初版のものや、有名な特定の版を古本屋で手に入れて喜ぶという人をみかけることがあるが、同じ様な心理なのであろう。

この様なことを考えれば、すべての書物をマイクロ化し、内容さえ読めればよいということは、あまりに合理化すぎて味けないということもあろう。だからいかに技術が発達しても、書物のすべてがマイクロ化するということはありえないことであろう。しかし少なくとも、実用的なもの、常に新しく書き換えられるようなもの、資料的なものなどは、マイクロ化に適する。また図書館などでは書物を愛玩物や飾物と考える要素は全くないから、科学的・技術的になしうる限り、その目的のためのもっとも能率のよい合理的方法が追求されるべきである。もっともその場合も費用の点からくる制約はあろう。

マイクロフィルムではそのような装幀や書物全体の感じからくる味わいがなくなるとしても、手頃な収納箱にぎっしりと大著作がつまっていて、見事に整理されているというようなものも、また一種の楽しさがあり、新しい感触の喜びも生じてくるかもしれない。今日でも装幀が立派なほど楽しいというわけではなく、假りとじのままのものもよいし、単純明快な装幀もまた好ましい。私はむしろそのようなあっさりした無駄のない装幀が好きである。また文庫ものなどに人気があるのは、値段の低廉ということのみならず、その軽少、手がるさ、実用的な単純さによるのであるから、使い易いマイクロ化が出来れば、文庫ものと並んで広く尊重されると思われる。

なお装幀に関連して感じることは、今日のわが国で出版される書物の多くがボール紙のケースにはめてあり、さらにその中の書物に薄い透明あるいは半透明のカバーをかけてあることの不要さである。あれは全く無駄なことであり、資源節約の必要が説かれる現在、出版社に廃止することを望みたい。上にも述べたように、書物の装幀や全体のデザインについていろいろ配慮がなされることは決して無駄なこととは思わないが、一冊づつボール紙のケースに入れる要はないし、あのボール紙のケースに愛着を覚える人も恐らくあまりないと思う。またケースの中の薄い紙のカバーは、ケースに書物を出し入れする際に皺になり、あるいは破れることが多くてわずらわしいし、書店の書棚ですでに破れていることも多い。洋書には厚手のカバーはよく見かけるが、ボール紙のケースはあまりみかけないように思う。また図書館では書物を購入し整理する際にケースやカバーは全部とりはずして捨てている。全く無駄なことである。本来書物が汚れないよう、また痛めないようにつけたものであろうが、ケースがなくとも大事にする人は痛めないし、ケースがあっても乱雑にする人はすぐ痛めてしまうことである。ケースの費用位はたいしたことでもないであろうが、それでもいくらかは費用もかかっているわけであろうから、それを廃止し、たとえ僅かでも、書物の値段をそれ

だけ安くしてもらいたい。出版は現在その殆んどが営利会社によってなされているが、書物は国民の知識の糧であり、思想・良心を形成する本源であり、いわば人権の基礎である。少しでも安い価格で広く販売されることが望まれる。
(法学部教授)

学生希望図書 (受入済)

物理法則はいかにして発見されたか ファイマン (ダイヤモンド社)	茶室(日本建築史基礎資料集成 第20巻) 太田博太郎 (中央公論美術出版)
誤差論 一瀬 正己 (培風館)	刑法改正の研究 平場 安治 (東京大学出版会)
洋らん 江尻 光一 (毎日新聞社)	透明と障害 T・スタロバンスキー (みずぐ書房)

教官著作寄贈図書

——本 館—— 豊田順一 (基・助教授) 基礎工学ハンドブック —電気・電子・情報・制御— (オーム社 昭49)	——薬学部分館—— 岩田平太郎 (薬・教授) 図解薬理学、高木博司、植木昭和、 岩田平太郎 共著 (中外医学社 昭50)
高田 馨 (経・教授) 経営者の社会的責任(千倉書房・昭49)	

外国雑誌一括購入業務 (業務の機械化〔4〕)

◇ 雑誌関係機械化システムの概観

〔受 入〕 雑誌は一定の誌名のもとに定期的に刊行され、年間の予約購読が建前となっている。したがって、各号を単行本と同じように扱って、1冊1冊処理することよりも、年間又は四半期を一つの処理期間として契約を行い、前金払、概算払を行なって、精算する購入方法が多くとられている。しかし雑誌には定期的に刊行されないものや、あらかじめ、年間の予約価格が判明しないものがある。これらは、各号の到着のつど支払う到着払、又は、半年、1年間分等について支払う後金払の方法で購入されているが、受入方法と機械化システムの関係は次のようになっている。

1. 前払金 (洋雑誌) : 外国雑誌一括購入システムで契約及び精算関係書類を作成、豊中地区については図書受入システム (例外処理) で予算差引を行なう。
2. 概算払 (和雑誌) : 図書受入システムにて行なう。
3. 到着払 : 図書受入システムにて行なう。
4. 後払金 : 外国雑誌一括購入システムで予約書類を作成し、図書受入システム (到着払) にて行なう。

5. 寄贈交換：図書受入システムにて行なう。

6. 製本受入：図書受入システムにて行なう。

注) 図書受入システムは豊中地区のみを対象としている。

〔閲覧〕 製本雑誌は、閲覧業務システムにて行なわれ、未製本雑誌はマニュアルで行なわれている。

〔目録〕 洋雑誌について、欧文雑誌総合目録作成システム、及び現行受入リスト作成システムがある。

◇ 外国雑誌一括購入システムの概要

〔対象・目的〕 このシステムは、本学で購入するすべての洋雑誌（前金払、後金払）についてその予約・契約、及び、精算関係書類（前金払対象誌のみ）を作成することを目的とし、副次的に、見積合わせ、諸統計、一覧表（書店別、支出科目別、学部別）が作成されている。計算処理上での正確さや、迅速さは言うまでもないが、マニュアル処理では、膨大な時間と労力を要する見積合わせが、このシステムでは短時間で行なわれることになり、購入価格、冊数の調整によって適正な価格による購入に役立っている。

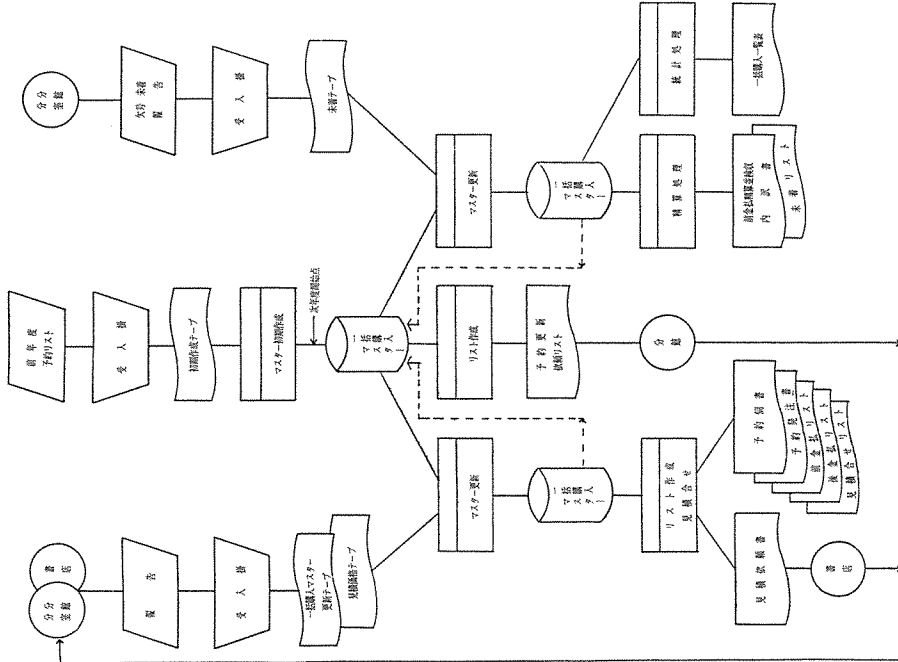
〔データ項目〕 契約上の各1点について1レコード(165バイト)が作成されており、その内容は、①雑誌のIdentificationのためのもの：雑誌番号、略誌名、ID番号(部局別の一連番号)、②購入講座等を示すもの：予算コード、③購入書店を示すもの：書店コード④前金払関係のもの：外貨単位、外国定価、邦価、冊数、受入予定巻号、⑥精算関係のもの：未着冊数、未着巻号、⑦その他：前金・後金区分等がある。①～③は毎年ほとんど変化しないため、大部分の処理は予約・契約時に④のデータを更新し、精算時に⑥のデータを更新することにあてている。

〔年間スケジュール〕

- I) マスター初期作成：機械化の初年度において、前年度の予約リストからデータ項目①～③を紙テープパンチして、一括購入マスターを作成する。
- II) 予約更新依頼：毎年、10月頃に、一括購入マスターから予約更新依頼リストを作成し分館・分室（各講座）より更新の報告を受ける。
- III) 予約発注書作成：II)の報告により紙テープパンチして、マスターを更新し、11月中に書店と、分館・分室に予約発注書を送付する。また事務局には、予約伺書を提出して次年度の外国雑誌購入予定の誌名と経費の概算額の確認を受ける。
- IV) 見積依頼：翌年2月頃に、マスターから見積依頼リストを作成し、書店から、外貨単位、外国定価、冊数、受入予定巻号等の報告を受ける。
- V) 前金払契約書類作成：IV)の報告から紙テープパンチし、マスターを更新して契約関係のデータがすべて整うことになる。ここで、見積合わせを行ない、同一の誌名について、金額、冊数等に異なるものがないかチェックを行なう。最終的に前金払リスト、及び、一括購入一覧表が作成され、4月に本契約、前払いが行なわれる。
- VI) 精算処理：4月に契約したものについて、翌年2月中旬に各分館・分室より未着冊数巻号の報告を受けて、マスターを更新し、前金払精算リスト・未着雑誌リスト・精算一覧表が作成され、戻入（代金の返納）が行なわれる。
- VII) 予算差引：豊中キャンパスの部局では、V)VI)の処理において、予算差引データを作成し、図書受入システムの予算差引ファイルに繰り込んでいる。

〔プログラム〕 プログラム言語はCOBOLを使用し、現在約10本のプログラムがある。

外国雑誌一括購入業務機械化システムフローチャート



議 会

— 図書館委員会 —

49. 11. 26(火) 14:00~16:00 大阪大学工業会館

1. 人間科学部の吹田第2地区移転に伴う図書分室の設置について

人間科学部の吹田第2地区に移転後の同学部図書室の在り方について協議の結果、移転後の図書業務は、将来生物系図書館(仮称)が完成されるまで暫定的に本館に連結する図書分室を設けることが了承された。

2. 開架図書選択小委員会の組織替えについて

標記小委員会の委員の構成を現行制度のまゝとするか、全学的規模に組織替えするかについて協議が行なわれ、次回に引続き審議することとなった。

3. その他

書庫内図書の再配架の完了(S.49年8月末)および本館運営費予算の具体的な節約方針の説明並びに図書館に関する要望書等の報告が行なわれた。

日 程

10月22日~10月25日 文部省主催 昭和49年度大学図書館職員講習会(吹田分館視聴覚室)

11月5日 学術情報の流通に関する特別委員会 (京都大学附属図書館)

11月11日 近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館統計に関する委員会 (大阪市立大学附属図書館)

11月12日 近畿地区国公立大学図書館協議会 参考図書に関する小委員会 (大阪教育大学附属図書館)

11月22日 分館長会議 (大阪大学工業会館)

- 11月26日 図書館委員会 (大阪大学工業会館)
 12月4日 学術情報の流通に関する特別委員会 (京都大学楽友会館)
 12月4日 近畿地区国公立大学図書館協議会 参考図書に関する小委員会
 (大阪市立大学附属図書館)
 12月6日 図書館業務の機械化に関する委員会(昭和49年度第2回)
 (大阪府立大学附属図書館)
 12月10日 近畿地区国公立大学図書館協議会 参考図書に関する委員会
 (大阪大学附属図書館中之島分館)
 12月10日 近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館統計に関する委員会
 (大阪大学附属図書館)
 12月12日 近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館施設に関する研究会
 (奈良女子大学附属図書館)
 12月26日 学術情報の流通に関する特別委員会 (京都大学附属図書館)
 50年
 1月13日 学術情報の流通に関する特別委員会 (京都大学附属図書館)
 1月23日 附属図書館事務打合せ会議 (大阪大学附属図書館)
 1月31日 図書館業務の機械化に関する委員会(昭和49年度第3回)(京都大学附属図書館)
 2月4日 学術情報の流通に関する特別委員会 (同 上)
 2月4日 第3回日米大学図書館会議実行委員会 (同 上)

■■■■■■■■■■ 人 事 ■■■■■■■■■■

来 訪 者

- 10月23日 高橋 昭二(総理府事務官)
 10月23日 石井 登(総理府事務官)
 11月15日 金森 恒利(香川大学附属図書館長)外8名
 11月21日 熊谷 俊夫(文部省情報処理係長)
 11月21日 佐藤 正勝(文部省情報処理事務官)
 11月25日 Miss Kee Yen Siew(シンガポール国立図書館整理課長)
 11月25日 Mr. Zondan B. Omar(マレーシア文部省ジョホール教育事務所学校図書館オー
 ガナイザー)

職員の異動

- | | | | | | |
|-----|-------|-------|------------|-------|------|
| 辞 職 | 事務補佐員 | 良本 恭子 | 49. 11. 1 | 本館整理課 | 目録掛 |
| 採 用 | 〃 | 端 映子 | 49. 11. 11 | 〃 | 〃 |
| 辞 職 | 〃 | 坂本 條子 | 49. 12. 1 | 中之島分館 | |
| 昇 任 | 文部事務官 | 尾崎 一雄 | 49. 12. 1 | 中之島分館 | 運用掛長 |
| 辞 職 | 事務補佐員 | 柿沢 昭宣 | 49. 12. 13 | 本館閲覧課 | 参考掛 |
| 採 用 | 〃 | 河野 快晴 | 49. 12. 13 | 〃 | 〃 |
| 〃 | 〃 | 藤川 和子 | 49. 12. 16 | 中之島分館 | |
| 辞 職 | 〃 | 寺田美枝子 | 49. 12. 18 | 本館整理課 | 目録掛 |